

週刊
亞民新報

目錄

第1号 (S. 21. 6. 15)

第129号 (S. 24. 8. 22)

完 33 枚

700

43

平民新聞 第1号

S. 21. 6. 15

- ④ 寸Xる! 強力政権の夢やら
- ④ 赤子 (岡本 三由)
- ④ 批判のことば
- ④ 文明の犯罪と国民の審判
- ④ 農村協同組合の問題 (新居 格)
- ④ ワレラの食糧危機突破
消費者はまずハダカになれ
- ④ 本性口ケこの書出
- ④ 看板に偽り、我国民主戦線の確立
- ④ 日本アナキスト連盟結成大会終る
- ④ 中央集権反対
- ④ 平民社の思いお (1) (石川三四郎)
- ④ 大層な人民の手へ (紺野 三郎兵衛)
- ④ 文化革命論は欺瞞
- ④ モノを知らぬ田中文相

701

平民新聞 第2号

S. 21. 7. 3

- ④ 人民へ挑戦する二大宣言
社会秩序保持声明
食糧非常時突破声明
- ④ 憲法制定の問題 (岩佐 作太郎)
- ④ 議会と民主革命の方途
独裁体制としての国策
- ④ 労働者に祖国なし
- ④ 共産党を排撃した英労働年次大会
- ④ 平民社の思いお (2) (石川三四郎)
- ④ 支那の政治結果
- ④ 自由連合の原理 (小坂 秀吉)
- ④ 私小説の「私」と作家 (野口 耕三)
- ④ 近頃念社風景 (利根 義雄 画)

702

平民新聞 第3号

S. 21. 8. 17

- ④ 革命の社会はまらぬ
- ④ 天皇制下の半国家
- ④ 天下り憲法 (鈴木 平八 画)
- ④ 偽善の憲法
- ④ わが歌 (安成 二成)
- ④ 給食と主権 (不盡 生)
- ④ 読書年議の真相
- ④ 西日本アナキスト・広島三原市が協議会

- ④ 固き革命への誓い
解放青年同盟の活動
- ④ 平民社の思いだ (3) (石川三四郎)
- ④ 小説の「基」について (野口耕三)
- ④ 今日の言論 (山廉)
- ④ 意中の人 (1) (張 赫宙)

703

平民新聞 第4号 S. 21. 8. 28

- ④ 自治は政府や議会から生れない
- ④ 自治権の回復 (石川三四郎)
- ④ 一切御破算「建直し論」巻にあがる
- ④ 都市と農村
はきりかえた社会連帯性
- ④ 一つの提言
共産主義者との共同闘争について (岡本 圭)
- ④ わが歌 (高田 太郎)
- ④ 市民者の自主的共闘組織
- ④ 忘れえぬ人 (1) (渡辺 政太郎)
- ④ 「日本の悲劇」を見る (高山)
- ④ 八月十五日を迎える
- ④ フォークソング的解放運動 (吉田 敏)
- ④ 意中の人 (2) (張 赫宙)

704

平民新聞 第5号 S. 21. 9. 18

- ④ 市民者はゼネストを通じて 決定的闘争の段階へ
- ④ ぜったいに強いぞ！ 結束のコミウリ
- ④ ゼネスト直前に、国鉄連合 揺る
- ④ 岡本君の提言に対して (水沼 辰夫)
- ④ 利害反する都市と農村
- ④ 青年のみに先駆者、大杉 (大沢 正雄)
- ④ 大杉の思いだ (1) (近藤 繁二)
- ④ 小本忠平君の追悼会 (岡本)
- ④ 意中の人 (3) (張 赫宙)
- ④ 海は呼ぶ (大内 義夫)
- ④ 農村の反人
素人演劇に就て (榎倉 辰次)
- ④ 最近の犯罪心理
- ④ 文明の審判 戦犯処刑ニュースをおこ

705

平民新聞 第6号 S. 21. 10. 9.

- ④ 資本家政府に備える (高野義一)
- ④ 解散は労働者自らの手で
- ④ 連盟の活動、中国九州に拡大
- ④ 憲法議会に現れた政治政策の堅持
- ④ 厳格な要求 (石川三四郎)
- ④ 大杉記念講演会 盛会裡に終る
- ④ 支那内争について木理氏に (岡平権)
- ④ 拡大する解放青年同盟
- ④ 産別会議の強さは自主的結束力 (石田)
- ④ 歴史的な読者の開拓
- ④ 新聞通信労組について立つ
- ④ 大杉の思い出 (2) (近藤)
- ④ 疑問 (萩原晋太郎)
- ④ 種々人 (ブーシキ)
- ④ 山梨電報大署に見る地方青年の熱意
- ④ 思想内容 (1) 個人主義

706

平民新聞 第7号 S. 21. 11. 23.

- ④ 自由連合の世界史的任務
- ④ 冬が来る (植村諦)
- ④ 国策論のからくり
- ④ 意中の人 (4) (張稚直・山下と直)
- ④ 果てした？ 代議士の公利
- ④ 農村座談記 (石川三四郎)
- ④ 新日本の基盤
- ④ 農工協同体の建設へ
- ④ 競争争議の意義
- ④ 再び救うために 争議をかへりみる (布留ワ 録)
- ④ 労働協約を排す (水沼 徳夫)
- ④ 大杉の思い出 (3) (近藤 寛三)
- ④ 町の孤児 (武林 好郎)
- ④ タッカーについて (木川 正夫)
- ④ 新居語集 (木川 三男)
- ④ 思想内容 (2) 全体主義

707

平民新聞 第8号 S. 21. 11. 30.

- ④ 吉田首相、政府の決意表明、人民も決意しよう
- ④ 意中の人 (5) (張稚直・山下と直)
- ④ 社会国家論
- ④ 小作人同盟 (泉 龍二)
- ④ 無策の村にづらん、政府の用振計画
- ④ 農村民主化の最大の最高度利用せん (大直寺三郎)

- ④ 組織外の大衆をどうするか
- ④ 弁証法について (小笠原 香實)
- ④ 忘れぬ人 (2) 久板 卯之助 (近藤 寛二)
- ④ 新憲法集 (つづき) (小川 三郎)
- ④ 两性の自由と平等 (渡部 栄介)

708

平民新聞 第9号 S. 21. 12. 11

- ④ 新居 格氏は PTキストか?
- ④ 忘れぬ人 (6) (張 祐庭、江島 一夫)
- ④ 政府は無用、合作社運動、失業解決にあつ
- ④ 九州、平民戦線を行く (岩佐 作太郎)
- ④ 法律と強権 ① 法は迷信に過ぎず
(ローター、クロボトキン)
- ④ 忘れぬ人 (3) 久板 卯之助 (稿)
(近藤 寛二)
- ④ 自由への歌 (松本 千鶴)
- ④ 性の自由のために (渡部 栄介)
- ④ 映画監督を志す女へ (吉田 敏)

709

平民新聞 第10・11号併載 S. 21. 12. 25

- ④ なぜ PTキストになったか? 小笠原 香實氏の
場合
- ④ 教員諸君に与ふ、貨銀収束に与ふ
(小川 三郎)
- ④ 日本自治同盟の発足について
。透見 吉三 「発足に際して」を讀んで
。水沼 浩、附記に同志に答ふる
- ④ 社会党、ハッピー 腹び倒閣運動
- ④ 農村素描 (松井 豊四郎)
- ④ 解放青年同盟 全国大会準備会報告
- ④ 法律と強権 ② 法律の歴史的役割
(ローター、クロボトキン)
- ④ 忘れぬ人 (4) 村木 源次郎 (1) (近藤 寛二)
- ④ 船を取水 (柳村 謙)
- ④ 最高学府に学ぶべきか?

710

平民新聞 第12号 1947. 1. 1

- ④ オポテニスト (清水 昆 画)
- ④ マ司令官よ、おいらは斯く提案す

- ④ 意中の人 (7) (張 赫宙)
- ④ 農村の建設的任務 (佐原 晋實)
- ④ 自主的農民運動展開
- ④ 法律と強権 (3) 法律は反社会的なもの (下田トキ子)
- ④ 完全自治のために積極果敢に戦おう (植村 謙)
- ④ 理論と行動 (大下 正廣)
- ④ 忘れえぬ人 (5) 村木三郎次郎 (3) (近藤 寛二)
- ④ 夜あけの世に (松本 千鶴)
- ④ 世帯の辛口、高遠な言葉に平伏する
- ④ 新憲法、屠者の仁術

711

平民新聞 第13号 1947. 1. 15

- ④ 意中の人 (8) (張 赫宙)
- ④ 地方自治体どう戦うか
- ④ 日銀の発表高 945億円、どこまで行く (小原 義三)
- ④ 人民の敵 (松井 豊太郎)
- ④ 農地改革と農民
- ④ 法律と強権 (4) 法に迎合する保守精神 (下田トキ子)
- ④ 忘れえぬ人 (5) 村木三郎次郎 (3) (近藤 寛二)
- ④ 人間様の農民 (李 耕人)
- ④ 天皇は愚昧の象徴か
- ④ 新憲法、自衛

712

平民新聞 第14号 1947. 1. 22

- ④ 在りし日の幸福秋水
- ④ 意中の人 (9) (張 赫宙)
- ④ 地下道ホテル (西村 陽吉)
- ④ 農組の政党離脱、自主を自覚した農民
- ④ 姫路に地方委員会 支局開設 — 宇田宅
- ④ 幸福秋水と大連事件 (特集)
- ④ 米国糾弾に抗議 (若原 作太郎)
- ④ 鋭いが優しい人 米人が語る秋水の面影
- ④ 忘れえぬ人 (7) 和田久太郎 (1) (近藤 寛二)
- ④ ひかり (松本 千鶴)
- ④ 信教からの自由

④ 新寓話、飾りたてた馬

713

平民新聞 第15号 1947. 2. 5

- ① 政府、ゼネスト決行に策無し
- ① 見てきた欧州、社会党沿道で逢ふ 共産党
- ① 意中の人 (10) (久保謙) 赤城清穂
- ② 提果、新秩序建設、三ヶ年計画
- ③ 氣にくわぬ「供米」といつ言葉
- ③ 法律と強権 (5) 約束より採奪の 典へ
- ③ 絶好の建設条件、強権は自己崩壊へ
- ③ 新国びき (手んか) (小笠原秀貴)
- ④ 忘れえぬ人 (8) 和田久太郎 (2)
- ④ 先駆者 (近藤寛二)
- ④ 自由の宣言 (植村諦)
- ④ 自由の宣言 (B. タッカー)

714

平民新聞 第16号 1947. 2. 12

- ① 意中の人 (11) (張赫留)
- ① 新体制 共産主義体制、スロイン国民性は49
- ② 百姓の歌 (久保君ト園く)
- ② 非国民 (松井年四郎)
- ② 愛国ストの危険性 (大沢正道)
- ③ 法律と強権 (6) 独占、生命、政府の保護
- ③ 矢本民主連盟苦悶つづく (クロホトキン)
- ③ 姫路の現状、希望は未知数
- ④ 女らしさ、と「う」と (松本千鶴)
- ④ 忘れえぬ人 (9) 和田久太郎 (3)
- ④ 詩人、和田久太郎 (近藤寛二)
- ④ 詩人、和田久太郎 (松本ちがる)

715

平民新聞 第17号

- ① 意中の人 (12) 張赫留
- ① マ元師書簡の一石
- ① 目くそ、鼻くそを難が販う、猪田、鮎山論議
- ② 冬と無産者 (松井年四郎)
- ② ストを追いかぬ物価
- ③ 法律と強権 (3) 独占、生命、政府の保護 (クロホトキン)

- ③ 片田舎にも寄る変革の波 サンドイッチマンの
農村行脚記 (若佐作太郎)
③ 階級闘争の原因 (小笠原秀實)
④ 忘れえぬ人 (10) コスロフ (1)
(近藤 憲二)
④ 冬の土くれ (小松力夫)
④ 除夜の鐘 (堀江末男)

716

平民新聞 第18号 1947. 3. 5

- ① 育中の人 (13) (張赫宙)
① 独裁より自由連合へ
② 人民の敵 (=) (松井五郎)
② 徹底民主農村へ 吹上農民協同組合前
進
② 日農全国大会を見る 農民組合は何処へ行く
③ 国家論 (1) 二種の見解について
(クロボトキン)
③ 幸福と雪 (周千代彦)
③ 労働戦線整備のとき 「指令」ストリ自主
活動へ
④ さようなら 朝鮮の友よ (松本千鶴)
④ 忘れえぬ人 (11) コスロフ (2)
(近藤 憲二)
④ 虚無主義と無政府主義 本田喜代治氏の
所論について (遠藤 斌)

717

平民新聞 第19号 1947. 3. 12

- ① 社会党内閣の場合
① 免状財産を収用せよ (山崎今朝弥)
① 育中の人 (14) (張赫宙)
② いっまで続く農奴生活
② 政府の役割 (大沢正道)
③ 国家論 (2) 原始社会の習俗
(クロボトキン)
③ 打てば ひびく (副島辰巳)
③ 3.1 独立記念大会 日本ア+連のメーデー
④ 忘れえぬ人 (12) 伊藤野枝 (1)
(近藤 憲二)
④ 示威 (植村謙)
④ 虚無主義と無政府主義 (原前)
(遠藤 斌)

718

平民新聞 第20号 1947. 3. 19

- ① 時代は無政府主義に期待
- ① 長椅子売却政策
- ② 忘れえぬ人 (13) 伊藤野枝 (2)
(近藤寛二)
- ② 無政府 (ハンリー マッケイ)

719

平民新聞 第21号 1947. 3. 26

- ① 世界労働者運動と精神 ハリ・コムエン77週
身に寄せて (石川三四郎)
- ① 竟中の人 (15) (張赫宙)
- ② どんな選挙が行われるか 安止！ 自己宣伝に
狂奔
- ③ 国家論 (3) 原始の自治と共有
(クロボトキン)
- ③ 政治に寄す「特攻」の純情 (重野力)
- ④ 忘れえぬ人 (14) 伊藤野枝 (3)
(近藤寛二)
- ④ 蓮 (松本千鶴)
- ④ 狂信

720

平民新聞 第22号 1947 4. 2

- ① 全体主義の母胎 マルキシズム
- ① 合理的利潤
- ① 竟中の人 (16) (張赫宙)
- ② これでおいか 民主主義教育相変らずの諸人主義
- ② 生活革命と新秩序 衣食住の根本理念と
具体的技術 (土) (山廉義治)
- ② 売名二人男
- ③ 国家論 (4) 原始自由連合社会
(クロボトキン)
- ③ 誰の争議か？ 日本ごう争議
(副島辰巳)
- ③ 試験制度と権力 (大沢正道)
- ④ 「虚」の話 (1) (近藤寛二)
- ④ いのち (大木一治)
- ④ 虚無主義について (市川白弦)
- ④ 新生への動力